

患者さんパンフレット

四国がんセンター
泌尿器科



カバジタキセル療法を 受けられる方へ

さま

主治医

受け持ち看護師

2022年6月15日 作成
2024年3月1日 改定

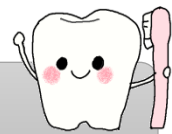
私たち医療スタッフは

- I 入院や抗がん剤治療に対する不安を軽減し、
最良の状態での治療が受けられるようお手伝いいたします

- II 抗がん剤治療の副作用や苦痛を軽減し、
安全に治療を続けることができるようお手伝いいたします



治療前の歯科受診について



四国がんセンターでは、
治療時に起こるお口のトラブルを予防し、
治療が円滑に進むよう、

治療開始前の歯科診察を行っています



口腔内（口の中）はとても細菌の多い場所です
治療中や治療後に、その細菌が悪影響を及ぼすことがあります
特に、治療後の口内炎・肺炎等を防ぐには治療前から口腔ケア
（口の中をきれいにし細菌をできるだけ減らしておく）
を行うことが有効です

治療前の歯科受診では、以下を行います

- レントゲン検査・診察（口腔内の状態を診る）
- 歯ブラシではとれない細菌の除去
- 適切な歯ブラシ方法の指導

通常1～2回の受診で終わることができます

★続けてのケアが必要な方で、かかりつけ歯科をお持ちの方は、
ご紹介させていただきます
ご相談ください

カバジタキセル療法のスケジュール

1コース（21日間）

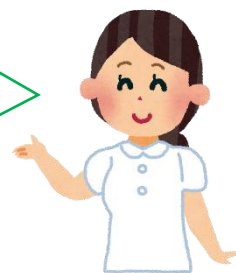
治療日数	1	2	3	4	5	6	7	8~14	15~21
カバジタキセル（点滴） 1時間	●								
プレドニン（内服薬）	●	●	●	●	●	●	●	●	●

この他に、アレルギー予防や発熱予防のための注射薬があります

安全に点滴を行うために

- ・正しく安全に点滴液を投与するために輸液ポンプを使用します
- ・点滴が入っている部位を曲げたり、ねじったり、また、点滴チューブをひっぱったりしないようにしてください
- ・歩行時は、点滴台を支点にして歩くと転倒する可能性があります
点滴台は支えにしないようにしましょう

- *輸液ポンプを使用しているときに機器のアラーム音が鳴ったとき
- *点滴が入っている部位に違和感や痛みを感じたり、腫れてきたとき
- *点滴を開始してから、気分が悪くなったり、呼吸がしづらくなるような症状が出たとき



こんなときは看護師にお知らせください

入院中の生活の注意点

- ◆感染予防のためにマスクを着用し、手洗いうがいをしましょう
- ◆口の中は清潔にするよう心がけましょう
- ◆排泄を促すために水分をしっかりとりましょう
- ◆膀胱に尿が溜まると薬が腎臓や膀胱を刺激し、炎症を起こしますので尿意を感じたら我慢をせずにトイレに行きましょう
- ◆排尿時に痛みや残尿感がある場合には看護師にお伝えください



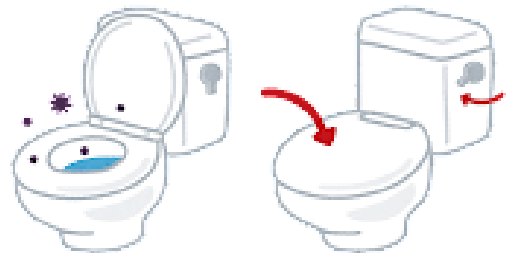
- ◆抗がん剤治療開始から治療後2日間ほどは、尿や便などから抗がん剤が排出されます。尿や便に直接触れても健康に直接被害を及ぼすことはありませんが、できるだけ周りに広げないように以下のことに注意しましょう

- 男性の方は飛び散り防止のため、
座って排尿しましょう



- 尿がこぼれた場合は、トイレットペーパーできれいに拭き取りトイレに流しましょう
2度拭き取ると良いでしょう

- トイレの後、フタがある場合は、
フタをして水を2回流しましょう



- トイレのあとは石けんなどでよく手を洗いましょう
- 尿や吐いてしまったもので衣服が汚れた場合は、ほかの洗濯物と分けて洗濯しましょう

ダイアリー

このパンフレットには、当院での標準的な治療や日常生活で注意していただきたいポイントなどを記載しています

また、よりよい状態で退院を迎えられるよう患者さんご自身の目標と医療スタッフの目標もあげています

入院は約10日間の予定です

抗がん剤治療の副作用は、個人差があり、体の状態によっては予定どおりにすすまないこともあります。その都度対応していきますのでご安心ください

私たち医療スタッフは、これからの入院生活が不安なく送られるようにサポートさせていただきます





今日の目標

- 入院生活や治療について医療スタッフの説明が理解できる
- わからないことは質問することができる

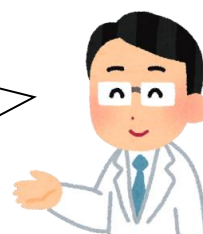
<時間>	<予定>
11:00	入院 【入院後に以下のことを予定しています】 <ul style="list-style-type: none"> • 看護師から病院内、病棟内、入院生活の説明（テレビの病院案内も参考にしてください） • 検温、血圧測定、身体測定
12:00	昼食 <ul style="list-style-type: none"> • 連絡先、既往歴、生活習慣などの聞き取り • 歯科受診 • 医師、薬剤師より抗がん剤治療の説明があります • 説明を聞いた後、納得し同意できれば同意書にサインをし、看護師にお渡しください • わからないことやもう少し詳しく説明を聞きたいことなどがありましたら、遠慮なくお尋ねください
18:00	夕食 <p><お薬></p> <ul style="list-style-type: none"> • 他の病院で処方されたお薬は、一度お預かりします 医師に確認後、続けるか、中止するかをお伝えします <p><食事></p> <ul style="list-style-type: none"> • 食物アレルギーのある方は医療スタッフにお知らせください • 特に制限はありません • 治療食以外の方は選択食となっています
21:30	消灯

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- 入院生活や抗がん剤治療に対する不安がないよう支援します





今日の目標

- 安全に抗がん剤治療を受けることができる
- 副作用症状出現時は医療スタッフに知らせることができる

<時間> <予定>

6:00 起床
検温、血圧測定

7:30 朝食

10:00 検温、血圧測定

点滴を始めます

- | | |
|------------------|-------|
| 1. 吐き気止め | 【15分】 |
| 2. 生理食塩水 100ml | 【30分】 |
| 3. 抗がん剤（カバジタキセル） | 【1時間】 |
| 4. 生理食塩水 50ml | 【約5分】 |

- 抗がん剤の投与前、投与開始15分後、終了時に、体温、血圧、酸素飽和度を測定します
- 点滴が終了したら、針を抜きます

12:00 昼食



フタをして水を
2回流しましょう

14:00 検温、血圧測定

18:00 夕食

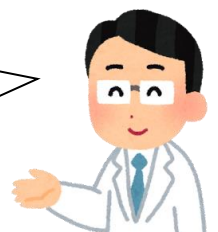
19:00 検温
血圧測定

21:30 消灯

- プレドニンは、医師の指示どおりに服用しましょう
- 点滴開始後、息が苦しい、胸が苦しい、皮膚が赤くなるなどの症状があらわれたときはすぐに医療スタッフにお知らせください
- 針の入っているところが赤くなった、腫れている、痛みがあるときは、すぐにお知らせください
- 点滴が始まる前に排尿を済ませておきましょう
- 点滴中はトイレなどの歩行時に注意しましょう
点滴台を支えにして歩くと転倒する可能性があります
点滴台は支えにしないようにしましょう
- 体調に合わせて体を拭いたり、シャワー浴をしましょう
- 食事を変更したい、着替えがしたいときなど、看護師へご相談ください

医療スタッフの目標

- アレルギー症状や副作用症状の早期発見に努めます
- 抗がん剤の血管外漏出予防に努めます



抗がん剤投与2日目 月 日



今日の目標

- 副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる
- 内服の必要性が理解できる

<時間>

<予定>

6:00

起床
検温、血圧測定

7:30

朝食



フタをして水を
2回流しましょう

10:00

検温、血圧測定

12:00

昼食

シャワー浴をしましょう



18:00

夕食

19:00

検温
血圧測定

- プレドニンは、医師の指示どおりに服用しましょう
- 針が入っていたところが赤くなった、腫れている、痛みがあるときは、すぐにお知らせください
- 吐き気がする場合は、医療スタッフにご相談ください

21:30

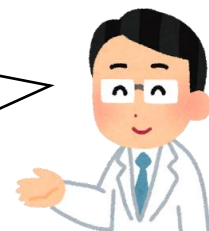
消灯

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- 副作用症状の早期発見に努めます
- 抗がん剤の血管外漏出予防に努めます



抗がん剤投与3日目 月 日



今日の目標

- 副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる
- 内服の必要性が理解できる

<時間>

<予定>

6:00 起床
検温、血圧測定

7:30 朝食



フタをして水を
2回流しましょう

10:00 検温、血圧測定

12:00 昼食

シャワー浴をしましょう



18:00 夕食

19:00 検温
血圧測定

- プレドニンは、医師の指示どおりに服用しましょう
- 好中球減少症を予防するための注射があります
- 針が入っていたところが赤くなった、腫れている、痛みがあるときは、すぐにお知らせください
- 吐き気がする場合などは、医療スタッフにご相談ください

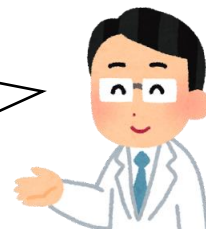
21:30 消灯

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- 副作用症状の早期発見に努めます
- 抗がん剤の血管外漏出予防に努めます





今日の目標

- 副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる
- 内服薬の管理ができる
- 感染予防行動をとることができる

<時間>

<予定>

6:00	起床 検温、血圧測定
7:30	朝食
10:00	検温、血圧測定
12:00	昼食
18:00	夕食
19:00	検温、血圧測定
21:30	消灯

体調に合わせて
シャワー浴を
しましょう



- プレドニンは、医師の指示どおりに服用しましょう
- 感染予防のため、手洗い、うがい、マスク着用を心がけましょう
37.5℃以上の発熱がある場合は、医療スタッフにお知らせください
- 吐き気がする、ひどい口内炎がある、手足のしびれが強い場合などは、医療スタッフにご相談ください
- 頭痛や強い体の痛みがある場合は、痛み止めを使用することができます

医療スタッフの目標

- 副作用症状の早期発見に努めます



退院準備期 月 日



今日の目標

- 副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる
- 内服薬の管理ができる
- 感染予防行動をとることができる
- 退院後の日常生活について理解できる

<時間>

<予定>

6:00	起床 検温、血圧測定	【退院前日】 • 看護師より退院当日の流れと、退院後の日常生活について説明があります
7:30	朝食	
10:00	検温、血圧測定	【外来で治療を受けられる方】 • 外来治療についてのオリエンテーションがあります • 通院治療室の説明と見学があります
12:00	昼食	
18:00	夕食	
19:00	検温、血圧測定	
21:30	消灯	

体調に合わせて
シャワー浴を
しましょう



- プレドニンは、医師の指示どおりに服用しましょう
- 感染予防のため、手洗い、うがい、マスク着用を心がけましょう
- 37.5℃以上の発熱がある場合は、医療スタッフにお知らせください
- 吐き気がする、ひどい口内炎がある、手足のしびれが強い場合などは、医療スタッフにご相談ください
- 頭痛や強い体の痛みがある場合は、痛み止めを使用することができます

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- 副作用症状の早期発見に努めます
- 抗がん剤の血管外漏出予防に努めます



退院日 月 日



今日の目標
・退院できる

<時間>	<予定>
6:00	起床 検温、血圧測定
7:30	朝食 「入院診療費料金連絡票」をお部屋までお持ちします 2階窓口でお支払終了後、病棟まで連絡票をお持ちください お預かりしている薬、退院の薬がある場合はお渡しします 次回外来予約票をお渡しします
10:00	退院 退院前に忘れ物がないようご確認ください

プレドニンは、医師の指示どおりに服用しましょう

次回外来受診は

月 日 () 時の予定です

* 外来受診時に検査のある場合は、事前に医師から説明があります

※ 通院治療室に行かれるときにはこのパンフレットをお持ちください

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

・退院後の日常生活に不安がないよう支援します



退院後の日常生活について

●活動

無理をしない程度で体を動かしましょう
活動の内容や範囲に制限はありません
引き続き感染予防に心がけ、マスク着用、手洗い、うがいをしましょう
白血球が下がっているときは、なるべく人混みは避けましょう



活動について迷う場合や、足のしびれが強く日常生活に影響がある場合は、医療スタッフにご相談ください

●食事

無理せず食べられるものを探し、食事はゆっくりと時間をかけたり、少量ずつ可能な範囲で食べるとよいでしょう
食事ごとに吐いてしまうようなときは、1～2食、食事は控えてみましょう
この場合も水分はできるだけとりましょう



●お薬

プレドニンは毎日忘れずに服用しましょう

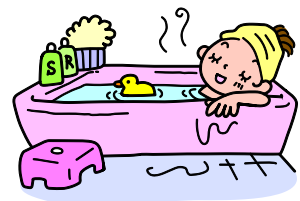
★プレドニンの影響：血糖値の上昇、不眠、いらいら、うつ症状、食欲亢進、制吐作用などがあります

他に薬の処方がある方は、医師の指示どおりに服用してください

他の病院の薬を服用する場合は、医師に相談してください

●清潔

入浴やシャワー浴をして体を清潔にしておきましょう
発熱時やだるさが強い場合は、入浴を控えタオルなどで拭くようにしましょう



皮膚が乾燥していると感染を起こしやすいため、クリームなどで保湿しましょう

歯磨き、うがいをしてお口の中をきれいにしておきましょう

歯ブラシは、小さく毛の柔らかいものを使用しましょう

虫歯、歯肉炎、義歯の不具合などがいないか確認しましょう

歯科治療を希望される場合は、担当医に歯科受診についてご相談ください

●仕事

これから先、安心して働き続けるためには、体の状態に合わせた休み方や働き方が必要になることもあります

病院では、患者さんの「働きたい！」をサポートしています

私たちと一緒に考えていきましょう



【相談窓口】

がん相談支援センター相談員

- ・医療ソーシャルワーカー、看護師

<出張相談>

- ・ハローワーク松山就職支援ナビゲーター
- ・両立支援促進員（社会保険労務士）

ご相談は、がん相談支援センターへお問い合わせください

●その他

定期受診は必ず受けるようにしましょう

インフルエンザなどの予防接種を希望される場合は、担当医にご相談ください

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

外来で抗がん剤点滴治療を受けられる方へ

通院治療の流れ

①受付



Bブロック

②採血
中央処置室



☆採血時のお願い☆
採血場所や注意することは退院前に確認しておきましょう
点滴予定の腕とは反対の腕で採血してもらってください



採血結果が出るまで、
約30分～1時間かかります

③診察受付
A、B、C、S各ブロック

Aブロック

Bブロック

Cブロック

Sブロック

呼吸器科
消化器科
緩和ケア
精神腫瘍科
感染症腫瘍内科
骨軟部腫瘍・整形外科

泌尿器科
血液腫瘍内科
原発不明がん診療科

④診察

乳腺科
婦人科
形成・再建皮膚腫瘍外科
頭頸科・甲状腺腫瘍科

消化器科
糖尿内科
循環器科
皮膚科
眼科
リンパ浮腫

治療決定

Sブロック

⑤治療
通院治療室

外来では、
看護師が点滴の針を刺し、
確認後に抗がん剤を開始します

治療終了



検査の説明を受ける方は、予約センターへ

他の診療科で診察のある方は、各診療科受付へ

予約センターは
B受付の隣です



⑥会計

処方箋もすべてファイルに入れたまま総合受付 **6番窓口** に提出してください。

***お薬の処方がある方へ**

会計終了後に処方箋をお渡しします。4日以内にお薬をお受け取りください。

通院治療室での過ごし方

- 外来で初めて治療を受ける方は、説明と確認を行いますので、少しお時間を頂きます。
- ベッドか椅子を選択できますが、混雑時にはご希望に添えないこともあります。
- テレビは無料でご利用できます。また、ラジオや音楽プレイヤー等の持ち込みも可能です。但し、ご利用される場合にはイヤホンをご用意ください。
- 携帯電話はマナーモードに設定し、通話をご遠慮ください。
- 通院治療室内での飲食は可能ですが、においの強いものはご遠慮ください。飲食される方は、各自でご準備ください。
- トイレは通院治療室内のトイレをご使用ください。男女兼用ですが、3か所あります。
- ご家族の待機場所は、「暖だん」や「図書コーナー」などがありますのでご利用ください。必要時には、付き添うこともできます。
- 副作用や日常生活で困っていることなど、相談したいことがあれば、いつでもスタッフに声をおかけください。





- 37.5℃を超える発熱が続くとき
- 咳が止まらない日が続くとき
- 吐き気があり、水分や食事がほとんど、とれない日が続くとき
- 圧迫しても傷口からの出血が止まらないとき
- 体を起こすことができないほどのだるさが続くとき

上記のような症状がある場合やその他ご心配なことがある場合は、
がん相談支援センターにご連絡ください

◆四国がんセンターの連絡先◆

【平日】 8：30～17：15
四国がんセンター がん相談支援センター
(直通番号) 089-999-1114

【平日上記時間外および土・日・祝日】
日直/夜間当直師長
(代表番号) 089-999-1111

* 外来受診日や検査予約日の変更については、
予約センターにご連絡ください

【平日】 8：30～17：15
(直通番号) 089-999-1112



カバジタキセル療法を受けられる方へ